

世界史

I 次の文章を読んで、下記の設問（問1～問8）に答えなさい。

ヨーロッパの中世末期、1による人口の減少によって、人間の存在がより価値あるものとして見出された。また、^(A)イスラーム圏から伝わった諸学問の影響によって、自然や人間に対する肯定的な探究がはじまった。このような前提にもとづき、^(B)ルネサンス（「再生」）と総称される文化活動が様々な分野で展開し、16世紀までに西ヨーロッパ各地に広まった。そこではキリスト教以前の2の文化が模範とされ、その「再生」がめざされた。ルネサンスでは、^(C)多様な文芸・芸術・学問が展開され、それらに通じた「万能人」が理想とされた。さらに、^(D)社会に影響をおよぼすような科学技術の発展も生じた。

また、16世紀には、宗教改革がドイツから展開していく。きっかけとなったのは、ヴィッテンベルク大学神学教授のルターによる^(E)ローマ教皇への批判であった。ルターの教えは、教皇や皇帝の影響に反発していた反皇帝派の諸侯にも支持され、1555年の3によってルター派は神聖ローマ帝国内において容認された。

スイスでは、ジュネーヴで宗教改革を指導したフランス出身の神学者の4が、魂の救済は神によってあらかじめ定められているとする5を説いた。そこでは、神に救われるような人間は自らの職業（天命）に禁欲的に従事している者だと考えられ、その結果としての富の蓄積が肯定的に解釈された。これにより、蓄財を教会から否定されてきた6がこの教えを支持した。

このような、カトリックに対する改革派の人びとを総称して、^(F)プロテスタントという。

一方、同時期にカトリック教会内部でも独自の改革がすすんでおり、宗教改革への対応によりその動きが強化されていく。これを^(G)カトリック改革という。この動きの中で、ヨーロッパ勢力の海外進出と連携して世界各地でカトリックの布教活動がおこなわれ、1549年には7が日本にはじめてキリスト教を伝えた。

問1 空欄1～7に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|--|---|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; display: inline-block;">4</div> | <div style="margin-bottom: 10px;">① 黒死病（ペスト）</div> <div style="margin-bottom: 10px;">③ 梅毒</div> <div style="margin-bottom: 10px;">① 古代エジプト</div> <div style="margin-bottom: 10px;">③ 古代ギリシア・ローマ</div> <div style="margin-bottom: 10px;">① アウクスブルクの和議</div> <div style="margin-bottom: 10px;">③ 統一法</div> <div style="margin-bottom: 10px;">① ウィクリフ</div> <div style="margin-bottom: 10px;">③ フス</div> | <div style="margin-bottom: 10px;">② コレラ</div> <div style="margin-bottom: 10px;">④ マラリア</div> <div style="margin-bottom: 10px;">② 古代メソポタミア</div> <div style="margin-bottom: 10px;">④ 古代マヤ・アステカ</div> <div style="margin-bottom: 10px;">② 首長法</div> <div style="margin-bottom: 10px;">④ ドイツ農民戦争</div> <div style="margin-bottom: 10px;">② カルヴァン</div> <div style="margin-bottom: 10px;">④ ミュンツァー</div> |
|--|---|--|

- | | | |
|---|----------|----------|
| 5 | ① 三位一体説 | ② 長老主義 |
| | ③ 万人司祭主義 | ④ 予定説 |
| 6 | ① 修道士 | ② 商工業者 |
| | ③ スペイン王 | ④ フランス王 |
| 7 | ① コロンブス | ② ザビエル |
| | ③ ペリー | ④ ラス＝カサス |

問2 下線部(A)について、ヨーロッパのキリスト教勢力とイスラーム圏との衝突に関して正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 8

- ① トゥール・ポワティエ間の戦いでフランク王国が敗れた。
- ② 第3回十字軍においてキリスト教勢力がエルサレムを奪回した。
- ③ レコンキスタによりキリスト教勢力がナスル朝を滅ぼした。
- ④ プレヴェザの海戦でキリスト教勢力が勝利して地中海の制海権を握った。

問3 下線部(B)について、この動きが始まった場所を次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 9

- ① ビザンツ帝国を滅ぼし、その文化を継承したオスマン帝国
- ② 古代の遺産が保存されており、各地の都市が経済的にも繁栄していたイタリア
- ③ かつてのフランク王国の中心であり、都のパリが経済的にも繁栄していたフランス
- ④ のちに統一ドイツの中心となる、都のベルリンが経済的にも繁栄していたプロイセン

問4 下線部(C)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 10

- ① フィレンツェの富豪メディチ家は、芸術家たちを支援した。
- ② 権力者の後援を受けて活動したため、社会体制の批判には直接つながらなかった。
- ③ 中世以来の占星術や錬金術といった迷信との断絶が特徴である。
- ④ フランス王やローマ教皇は、芸術家たちを支援した。

問5 下線部(D)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 11

- ① ダーウィンが進化論をとなえ、キリスト教にもとづく人間観に衝撃を与えた。
- ② 蒸気機関の改良は、海外進出を容易にし、大航海時代を引き起こした。
- ③ コペルニクスが天動説をとなえ、後世の天文学に影響を与えた。
- ④ 火器の改良は、戦術に大きな変化をもたらし、騎士の没落をうながした。

問6 下線部(E)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 12

- ① 当時のローマ教皇は、メディチ家出身のレオ10世であった。
- ② ローマ教皇は、サン＝ピエトロ大聖堂の改築資金を得るために贖宥状を販売した。
- ③ ルターが発表した『愚神礼賛』が大きな反響を呼んだ。
- ④ 活版印刷の発達により、ルターの主張やドイツ語訳『新約聖書』が急速に広まった。

問7 下線部(F)に含まれないものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。

13

- ① イエズス会
- ② イギリス国教会
- ③ ピューリタン
- ④ ユグノー

問8 下線部(G)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 14

- ① トリエント公会議で、カトリックとプロテスタントとの和解がなされた。
- ② 贖宥状の販売が禁じられた。
- ③ プロテスタントの南ヨーロッパへの浸透は阻止された。
- ④ ラテン語聖書の正統性や旧来のカトリックの教義が再確認された。

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問（問１～問７）に答えなさい。

(A)アンシャン＝レジーム下の18世紀フランスでは、平民は特権階級へ不満を募らせていた。そのようななか、国王は特権階級への課税を強化するため全国三部会を招集したが、議決方法に不満を持つ平民代表の議員らは国民議会を立ち上げた。国王は国民議会を軍事力で弾圧する姿勢を見せ、政治的混乱のなか、農民が各地で蜂起し貴族の屋敷を襲撃した。(B)この状況に際して、国民議会は封建的特権の廃止を決定し、蜂起を鎮静化させた。さらに議会は(C)人権宣言を発して、国王にもこれを認めさせた。こうしてフランスは、(D)身分・特権といった格差や地域の相違の解消をはかっていった。1791年にはフランス史上初の憲法が制定され、新たな政治体制が発足した。

このような革命の動きに対して有力貴族の多くは周辺諸国に亡命して革命への干渉を働きかけた。フランス国王も15へ亡命を試みたが、失敗しパリに連れ戻された。フランス革命の影響が自国に及ぶのを懸念した周辺諸国が介入姿勢をみせると、革命政府は1792年にオーストリアとプロイセンとの戦争を開始した。当初劣勢だったフランスでは各地から義勇軍がパリに集結した。さらに16では、義勇軍が民衆とともに宮殿を攻撃し、敵との密通が疑われた国王をとらえた。このため議会は王権を停止してみずからも解散した。

1793年にはイギリス・オランダとの戦争が開始され、革命政府は軍事力増強のため徴兵制を導入した。これに対する反乱や王政を復活させようとする動きに対して、17は公安委員会に権力を集中して、革命に抵抗する勢力を弾圧した。しかし、1794年には政敵によるクーデタにより17は逮捕、処刑され、恐怖政治は終了した。

その後、フランスはほとんどの国と休戦し対外関係が安定すると、1795年に18が発足したが、1799年にはナポレオン＝ボナパルトがクーデタで権力を掌握し、フランスはナポレオンを実質的な国家元首とする新体制に移行し、フランス革命は終了した。

1799年にはイギリスとの戦争が再開されたが、ナポレオンは(E)国内外の安定化策をすすめ、経済・財政を再建すると、1804年には皇帝ナポレオン1世として即位した。その後、ナポレオンはヨーロッパの主要国を軍事力で屈服させたが、ロシアに遠征して大敗を喫し、権力基盤の軍事力を失った。これを機に反ナポレオン勢力が蜂起し、解放戦争（諸国民戦争）に敗れたナポレオンは退位し、19に移された。フランスではルイ18世が20を樹立したが、フランス国民の多くは革命前の社会の復活を恐れ、またウィーン会議ではヨーロッパ諸国が対立していた。そのような情勢のなか、1815年にナポレオンは再び権力を握ったが、21に敗れて流刑となり、ヨーロッパは(F)ウィーン体制の時代にはいった。

問1 空欄 15 ～ 21 に入れるのに適当な語句を次の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|----|--------------|---------------|
| 15 | ① オーストリア | ② プロイセン |
| | ③ オランダ | ④ スペイン |
| 16 | ① ヴァンデーの反乱 | ② テルミドールの反動 |
| | ③ 8月10日事件 | ④ ヴァレンヌ逃亡事件 |
| 17 | ① ロベスピエール | ② ミラボー |
| | ③ ラ＝ファイエット | ④ ブリッソ |
| 18 | ① 統領体制 | ② 総裁政府 |
| | ③ 国民公会 | ④ 立法議会 |
| 19 | ① シチリア島 | ② セントヘレナ島 |
| | ③ コルシカ島 | ④ エルバ島 |
| 20 | ① 絶対王政 | ② 共和政 |
| | ③ 立憲君主政 | ④ 帝政 |
| 21 | ① トラファルガーの海戦 | ② ワーテルローの戦い |
| | ③ ライプツィヒの戦い | ④ アウステルリッツの戦い |

問2 下線部(A)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 22

- ① 特権商人・大地主などが革命初期の主体であった。
- ② 聖職者は貴族出身である必要があった。
- ③ 貴族は全土の約5割の土地を所有していた。
- ④ 平民は当時の人口の約5割を占めていた。

問3 下線部(B)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 23

- ① 領主裁判権が有償廃止された。
- ② 小作料が有償廃止された。
- ③ 賦役が有償廃止された。
- ④ 教会による十分の一税が有償廃止された。

問4 下線部(C)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 24

- ① 抵抗権の維持が政府の義務とされた。
- ② 国民主権、三権分立、私有権の不可侵が規定された。
- ③ 自由、平等の権利保全が示された。
- ④ 成人男女である国民に対する選挙権が保障された。

問5 下線部(D)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 25

- ① 全国一律の度量衡として、1790年にメートル法を正式に導入した。
- ② ギルドを国有化して国民の経済活動を自由化した。
- ③ カトリック教会の聖職者を国家の管理下におき、国王のみに忠誠を誓わせた。
- ④ 全土に画一的な県制度をしいた。

問6 下線部(E)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 26

- ① フランス銀行を設立した。
- ② ナポレオン法典により自身の任期を終身制とした。
- ③ カトリックの復権を認め、国内の宗教体制を安定させた。
- ④ アミアンの和約を締結してイギリスと講和した。

問7 下線部(F)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 27

- ① キリシト教精神にもとづいて友好を約した神聖同盟が結成された。
- ② 列強は正統主義よりもヨーロッパ世界の安定と自国領土の拡大を重視した。
- ③ ロシア、イギリス、オーストリア、オランダが四国同盟を結成した。
- ④ ウィーン議定書によりスイスが永世中立国となった。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問（問1～問6）に答えなさい。

1929年10月、^(A)ウォール街で株価が大暴落し発生したアメリカ合衆国の恐慌は、世界恐慌へと発展した。なかでも、アメリカ資本に支えられ経済復興をすすめていたドイツ経済の悪化は深刻であった。世界恐慌のもと、各国の政治情勢は不安定化し **28** が勢力をのばす国も現れた。また、国際関係の対立も先鋭化し、世界平和は危機的な状況に陥った。

アメリカ合衆国では当初、市場介入に消極的な自由放任主義が根強かったが、1932年に大統領に就任した **29** は、市場介入に積極的な^(B)ニューディール政策へと転換をはかった。イギリスは金本位制から離脱し、**30** において、連邦内の関税を下げ連邦外の関税を上げるスターリング＝ブロック（ポンド＝ブロック）を形成した。これを皮切りに、自国の植民地を囲い込み、経済の安定をはかったフランスのフラン＝ブロックや、ラテンアメリカ諸国を組み込んだアメリカ合衆国のドル＝ブロックなどブロック経済が形成された。しかし、それらのブロック間には摩擦がうまれた。また広大な植民地を持たないドイツ・イタリア・日本などは拡張主義路線をとった。

世界恐慌に苦しむドイツでは、1932年の選挙で^(C)ナチ党（国民社会主義ドイツ労働者党）が第一党となった。1933年には、同党の指導者であったヒトラーが首相に就任し、立法権を政府に委譲する **31** 法を成立させ、一党独裁の体制を敷いた。さらに1934年になると、ヒトラーは大統領も兼ねる総統を名乗り独裁者となった。^(D)政治的反対派などに対する強制収容所送りやユダヤ人排斥がおこなわれるなか、^(E)多数の民主主義者やユダヤ人のなかには国外に亡命する者も出た。しかしその一方で、ナチス＝ドイツは、計画経済などソ連の社会主義から学んだ **32** によって軍需工業を拡張した。その他にも、ナチス＝ドイツは、大衆娯楽の拡充や保守的な家庭観・女性観にもとづいた福祉事業の整備など、一般のドイツ国民が歓迎する政策を実施した。

イタリアは、1935年に世界恐慌に対する拡張主義路線の一環として **33** に侵攻し、翌36年に併合した。これに対して、国際連盟がイタリアに部分的な経済制裁を加えたところ、1938年、ムッソリーニ率いるイタリアはドイツに接近するに至った。

28 の高まる脅威に対して、アメリカ合衆国は1933年にソ連を承認した。1934年にはソ連の国際連盟への加盟が認められた。1935年にはソ連とフランスとの間で仏ソ相互援助条約が締結された。また同年、ソ連のコミンテルンが反 **28** の立場から広く連帯を呼びかけた **34** を打ち出した。1936年には、フランスやスペインがそれに呼応した。しかし、スペインでは保守勢力を率いる **35** 将軍の反乱によってスペイン内戦がはじまった。欧米から結集した国際義勇軍も支援をおこなったが、1939年に **35** 側が勝利し独裁政治をおこなった。

問1 空欄 28 ～ 35 に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|----|------------------|--------------|
| 28 | ① コスモポリタニズム | ② ファシズム |
| | ③ スーフィズム | ④ ヒューマニズム |
| 29 | ① ネヴィル＝チェンバレン | ② フーヴァー |
| | ③ フランクリン＝ローズヴェルト | ④ ケネディ |
| 30 | ① オタワ連邦会議 | ② ロンドン会議 |
| | ③ ベルリン会議 | ④ アジア＝アフリカ会議 |
| 31 | ① 反トラスト | ② 政教分離 |
| | ③ ローラット | ④ 全権委任 |
| 32 | ① 第1次五カ年計画 | ② 四カ年計画 |
| | ③ 「偉大な社会」計画 | ④ 第2次五カ年計画 |
| 33 | ① エチオピア | ② オランダ |
| | ③ 中国 | ④ スイス |
| 34 | ① 人民戦線戦術 | ② 善隣外交 |
| | ③ レジスタンス | ④ 禁酒法 |
| 35 | ① ブルム | ② フランコ |
| | ③ ド＝ゴール | ④ ナセル |

問2 下線部(A)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 36

- ① 購買力に対する過剰生産と投資拡大がその背景にあった。
- ② 工業生産は急落し、銀行・企業の倒産が相次いだ。
- ③ 農産物価格は暴落せず、農業恐慌はともなわなかった。
- ④ 労働者の失業率は、4人に1人の割合を示した。

問3 下線部(B)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 37

- ① 大統領は、ラジオ放送を通じて国民に説明し支持を集めた。
- ② 全国産業復興法(NIRA)は、工業製品の価格協定を公認した。
- ③ テネシー川流域開発公社(TVA)は、民間事業を通じた雇用促進をはかった。
- ④ ワグナー法は、労働者の団結権と団体交渉権を認めた。

問4 下線部(C)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 38

- ① 社会不安が広がるなか、たくみな政治宣伝によって大衆を動員した。
- ② 保守的な産業界や軍部からは強い支持を得られなかった。
- ③ ヴァイマル共和国の議会政治を賛美した。
- ④ 同質的な民族共同体の建設に反対した。

問5 下線部(D)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 39

- ① おもに秘密警察(ゲシュタポ)や親衛隊(SS)によって担われた。
- ② たとえば、ユダヤ人とドイツ人の結婚を禁止した。
- ③ その後、迫害は強化されホロコーストがおきた。
- ④ 迫害の対象に同性愛者、障害のある者、ロマ(ジプシー)は含まれなかった。

問6 下線部(E)に該当する人物に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 40

- ① ノーベル生理学賞を受賞したアインシュタイン
- ② 『誰がために鐘は鳴る』を著したヘミングウェイ
- ③ ノーベル文学賞を受賞したトーマス＝マン
- ④ 『カタロニア賛歌』を著したオーウェル